

次世代につなげるまちづくり

輝かしい初春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

また、日頃から市政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本市は昨年2月に、合併10周年を迎え、さまざまな記念事業を通じ市民と共に祝い、そして喜びを分かち合うことができました。特に「ドイツニールパレード」や千葉県柏市立柏高校吹奏楽部による特別公演では、感動を与えていただき、関係各位に対し、あらためて感謝を申し上げます。

さて、本市の基幹産業である農業は、昨年10月の爆弾低気圧による強風で、リンゴの落下・樹上損傷の被害があり、被災した方々に対し心よりお見舞い申し上げます。

水稻に関しては、天候に恵まれ順調に生育し、米価も一昨年より上昇、また、本県産初となる特Aを取得しました。「青天の霹靂」のデビューなど、実りある年でありました。

しかしながら、農政の根幹政策である生産調整の廃止やTPP大筋合意など、農家の

経営を根本から揺るがしかねない問題を抱えております。私といたしましては、農家が継続的に生産できるよう関係各団体、市議会と連携を図りながらこれらの課題に取り組んでまいります。

本市は、市民の健康保持を最重要課題ととらえ、昨年10月に「健康まちづくり宣言」を行いました。新年度には、特定健診や乳幼児健診など、健診を集約的に行う施設として、「(仮称) つがる市総合健診センター」の建設をスタートします。隣接する市民診療所と連携を図り、積極的な保健指導など市民の健康増進につなげてまいります。

さらに、市民がこれまで待ち望んでおりました市立図書館を本年、イオンモールつがる柏構内に設置いたします。これにより新たな地域の情報・文化の拠点や生涯学習の場を市民へ提供できると期待しています。

我が「つがる市」も合併11年目に入り徐々に一体感が形成されつつありますが、少子高齢化の進行により担い手の

人口が減少し、地域経済に大きな影響が懸念されます。地域の特性を活かし持続可能な自治体づくりのため、「つがる市地域活力創生総合戦略」を本年3月に策定するとともに、五所川原市を中心市とした「定住自立圏」を形成し、近隣市町の農産物・歴史・文化などの、それぞれの魅力を活かし相互に連携を保ち、人口定住等を促進いたします。

その他、(仮称)車力地区統合小学校校舎等の工事や桜木団地住宅の建設を継続し、津軽自動車道の未着工区間(柏ヶ浮田間)については、引き続き関係機関に積極的に要望してまいります。

今後とも、10年間の歩みをしっかりと踏まえつつ、さらなる飛躍を目指し、豊かな自然や文化・歴史を継承しながら、「次世代につなげるまちづくり」に向け全力で取り組んでまいりますので、市政発展のため一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

年頭あいさつ 2016年

つがる市長
福島 弘芳



市民目線の実のある政策を提言

新年明けましておめでとう
ございます。

市民の皆さまには、新春を
健やかにお迎えのこととお慶
び申し上げます。

また、日頃から市議会に対
しまして、ご理解とご協力を
賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、
本市の基幹産業である農業に
おいては10月の暴風により、

りんごの落下や樹上損傷が発
生するなどの被害がありまし
たが、水稲は比較的天候に恵
まれ、出来秋を迎えることが
できました。

一方、国においては、昨年
10月、TPP(環太平洋経済連
携協定)閣僚会合において交
渉が大筋合意に至り、その概
要が公表されました。

農畜産物の輸入枠設定や関
税の大幅削減は、生産者にと
っては益々経営が厳しくなる
ことが予想されます。

政府は、「安心して再生産
に取り組むことができるよう、
万全の対策を実施していく」
と述べていますが、具体的な
対策は示されておらず引き続
き注視して行くことが必要です。

農畜産物については、国の強
い関与が望まれ、市議会とし
ても積極的にその対応を国に
働きかけてまいります。

また、農業者自身も消費者
目線に対応した高付加価値化
および競争力向上など、攻め
の農業への経営転換が求めら
れます。

さて、人口減少時代を迎え、
超高齢化社会への進行と相ま
って地域経済の活力が低下し、
人口流出に拍車がかかる悪循
環に陥っています。国では、

地方創生の基本理念を盛り込
んだ地方創生関連法を制定し、
地域の実情に応じた効果的な
施策を求めています。

地方を取り巻く環境は依然
として厳しい状況にあります。
本市においても、地域活性化
に向け取り組んでいくため、

「第二次総合計画」や「人口
ビジョン」ならびに「地域活
力創生総合戦略」の策定に取
り組んでおります。

これらの策定により、今後
の中・長期的な目標や施策の
基本的な方向性が定められる
こととなります。

議会においては特別委員会

を設置し、本市農業のあるべ
き姿について協議を進めてい
るほか、議員定数の見直しに
についても検討協議し、次期一
般選挙から議員定数を18名に
削減することに決定いたしま
した。

市議会としましては、二元
代表制の一翼を担う立場から、
市政に対するチェック機能を
果たすことは勿論ですが、市
民のニーズを的確に捉え、市
民目線に立った実のある政策
を提言していくことも、重要
な責務であると認識しており
ます。

今後とも、議員一同、市民
の信頼と負託に応えられるよ
う研さんを重ね、安全と安心
な住みよい街づくりを目指し、
努力してまいります所存であり
ますので、本年も相変わらぬご
支援ご協力を賜りますようお願い
申し上げます。

結びに、本年が皆さまにと
りまして希望に満ちた飛躍の
年になりますよう、心から祈
念申し上げます、新年のご
あいさつとさせていただきます。

謹賀新年

つがる市議会議長

佐々木 慶和

